

NHK 萩井会長記者会見 2014.02.13 詳報

朝日新聞

2014年2月14日 02時25分

NHKの萩井勝人会長の13日の定例会見での主なやりとりは以下の通り。

1. 「もう就任会見のことは…」

——国会で先日、公式会見の場で個人的見解を発言したことは不適切だとしてすべて取り消すと説明。改めて何がいけなかったのか、どこを取り消したか

すでに取り消しております就任会見の場での発言について説明することは、再び個人的な見解に触れることとなりますので、コメントを控えさせていただきます。

——国会に何度も呼ばれて内外に反響を呼んでいる。NHKの報道姿勢、番組づくりに疑念をもたれたのではないかとされている。どう考えているか

あくまでも放送法に基づき、不偏不党、公正公平、表現の自由の確保などの原則を守って放送していくことに変わりはありません。

——就任会見以来、視聴者からどんな意見が何件くらいNHKに寄せられたのか

(広報局長) 昨日の夕方5時現在、電話やメールなどで寄せられた反響は約1万6千件。このうち、厳しい意見が約60%、肯定的な意見は25%、あとはその他です。意見の中身については、NHK会長の意見としては大変問題だという意見がある一方で、当然だという意見も含まれています。

——就任会見から3週間弱。印象に残っているNHKの番組は

毎朝早く起きますので、朝5時半から「おはよう日本」、8時になると「ごちそうさん」、そこからは「あさいち」が始まりますが、出勤時間になりますのでそこでやめて出勤する。基本的には週末が多いんですが、「ダーウィンが来た！」とか「軍師官兵衛」ですね。よく見えていますし、日曜日にはETVの「日曜美術館」も。「ためしてガッテン」もそうですが、なかなかこの時間に間に合うように帰れることがありませんので、最近はちょっと見られなくなっています。

——これが「NHKらしい」という番組は

まあ、あの、印象に残る番組を見ているつもりなんですけどね。やっぱりいいなあと思うのは「ダーウィンが来た!」、「日曜美術館」。非常にNHKらしいなと思っています。

——NHKスペシャルはあまりご覧になっていないのか

テーマによってもものすごく印象深いやつとかそうでないものがありますが、時間がある限りは見ますね。

——NHKをこう変えたい、と意気込みをもって就任されたと思うが、今日に至るまであまり前向きな仕事ができない状況。振り返ってどう見ているか

本当に放送法に準拠したNHKにしたいというのが私の第一の願い。

第二に、こういうふうな国際的な状況になりますと、NHKの国際放送というものが非常に大事になってまいります。充実をはかりたい。

三つ目は、やはり企業風土。企業にとってある意味では非常に大事な部分。今が悪いといっているわけではないが、ガバナンスをきちっとし、ひとつひとつ改善するものがあったら改善していきたい。

——通常の業務とは別である国会での説明もしなければならない。業務に空白が生じたが

特に空白は生じておりません。社内の会議はきっちりやっていますし、時間的にずらすこともあります。働いている人たちはこういうことにめげず働いているわけで、私は実際に、深刻な仕事の空白ができていたとは思いません。

——視聴者の意見の中には批判的意見が6割。受信料を払いたくないという意見もある。NHKに対する信頼が揺らいでしまったことについて、どのようにリカバーする考えか

放送法にのっとなって粛々とNHKを経営していくということ。意見は重く真摯(しんし)に受け止めたい。私は就任して、おかげさまで本当に忙しい日々を送っておりますけれども、全身全霊でNHKの経営に取り組んでいきたいと思っています。

——就任会見の場で、国会で述べられた5項目について取り消したという認識なのか

会見の場では私は全部取り消すと言ったつもりです。国会では具体的に、ということなので(5項目を)挙げました。

——記者から執拗(しつよう)に質問があったので、つい述べたと言うが、会見を確認する限り、それほど従軍慰安婦問題について執拗な質問があったとは思えないが

私から見ると、個人的な意見は申さない、と申したんですが執拗に質問されたと思っています。公式な会見で私見を述べてはいけないと言われたんですが、それは全く不覚にも私は認識しておりませんでした。

——確かに従軍慰安婦については質問に対して個人的な見解は控えたいと答えたが、その後続けてどこの国にもあったと言った

あの時の話はずっと続くような話でしたよね。どれをひとつひとつ個人的な意見と言わなくてはいかんか、というと私はそうは認識してなかった。今日は定例会見ですから、もう就任会見のことはあまり聞かないでいただきたいと思いますね。

——改めて聞くが、国際放送における報道や編集の方針についてどのように今後進めていくのか

国際放送は放送法によって決められていて、国際親善の増進や外国との経済交流の発展に資することがまず求められている。よって、NHKの国際番組基準は、内外のニュースを迅速かつ客観的に報道すること、我が国の重要な政策及び国際問題に対する公的見解ならびに我が国の世論の動向を正しく伝えること、さらに、我が国の文化や産業などの実情を紹介すること、とうたっております。こうした原則をふまえて、積極的な海外発信、国際放送の充実をはかっていきたい。

——他国との間で意見が対立している領土問題について、日本の公的な立場についても積極的に発信していくと言っていたが、それについては。

個人的な意見は差し控えさせて頂きたいと思います。

——個人的なことではなく、尖閣は日本の領土であるなどの政府の主張をどう報じるのか

尖閣や竹島ははっきりしている。したがって、それは放送する必要があると思います。

——国際放送について、就任会見では「政府が右といったものを左と言ったことはない」とし、国会での答弁では、「右とか左ではなく、色で言えばよかった。赤と白とか」と言っていた。非常に政治的中立性を疑われる発言だったことが問題になっている。国際放送でも政治との距離を取ることは必要と考えるか。

個人的な意見でありますので、差し控えます。

——さきほど「就任会見についてはもう聞かないでいただきたい」と言った。それはどうしてか

済んだことだからです。

2. 国会でうそを言うわけには」

——「就任会見の発言はすべて取り消す」と言っていたが、これはあらゆることを指しているのか。例えば、「インターネットの同時再送信に力を入れたい」なども、全てまったく一文字たりとも取り消すのか

そうは申しておりません。

——そうするとどの部分を取り消すのか

それは国会で説明した通りです。この場では触れることは控えさせていただきます。

——では、国会で言った5項目について取り消した、ということでもいいか

国会でうそを言うわけにはいかないでしょ。(執行部から紙を渡され)ああ、そうです。国会で申し上げた通りです。

——国際放送ですが、これから改善するところがあるんでしょうが、具体的には、今の国際放送をご覧になっていて、どの点を改善したいのか

問題があるとかないとかではなく、個人的にとってわけじゃないんですが、やっぱりニュースの回数が少ないということはあると思います。国際放送の場合は、地球は丸いので時差が相当ありますよね。1日に4回だけやっていると、時差によっては見られないところもありますので、実際は誰からか答えていただけるといいんですが、それを少し増やして6回にして、そうすると24時間のうち4時間ごとにくるわけですね。そこからまずやってきたい。だからニュース、例えばドラマ、バラエティーとかを最初にやっていきたい。

——その部分は新年度でもう方針はたっているわけですが

(執行部)ちょっと補足させていただきます。国際放送局ワールドTVは毎正時ニュースを放送しています。4時間の単位を今度6時間にするのは、ニュースの後の番組部分につきまして、4時間の単位を6時間に充実させるという意味でございます。

——その部分は我々も説明を受けている。ニュースの回数以外ではどこを改善したいのか

もう少し、国際的にインパクトのある番組ですかね。またあとでいろいろ言われても困るんだけど。まずは4時間を6時間にすること。次には、やはり内容ですよ。インパクトといいましたが、内容をもうすこし充実させる必要があると思います。

——そうすると、現状だと、そのへんのところが、いまひとつだと感じているのか

まあねえ、たとえばCNNやBBCと比べた場合はだいぶ違うなということですね。

——就任会見後、3週間弱で一連のことがあった。海外の政府高官やメディアから会長の発言に対して色々な声が上がった。それを踏まえて、NHKは一つの報道機関なので、海外の動きもたくさん取材しなければならない。しかし、海外への取材、たとえば大使館への取材が今、困難になっている、例えば取材が断られてしまったということはあるのか

そういう話は聞いておりません。

——2月13日時点で、取材が断られてしまっていることはないのか

ないと思います。

——発言を取り消すということだが、そもそも取り消すのは「私見を述べたことが誤解があった」ということで、中身には問題がないと思っているのか

私見について述べたところが不適切だということで発言を取り消したということです。

——例えば、オランダに従軍慰安婦がいたということについては、議論の分かれるところではなく、明らかに中傷やデマに類すること。内容が間違えていたという見解はないか

個人的見解についてはコメントすることを控えさせていただきます。NHK会長としての会見だと思っておりますので、個人的意見は控えさせていただきます。

——例えば「NHKはバラエティーが多い」という話もあったが、それも取り消すのか

それも個人的見解ですから。

——そうすると、逆にどこの発言を維持するのか

控えさせていただきます。何が起こるのかわからないのでね。今、コメントしていません

よ。

——ジャーナリズムの役割として権力を監視する役割があると思う。このあたりはどのようにお考えか

ご承知の通り、NHKは放送法で律されていますから、それに基づいて放送を続けていくだけです。不偏不党。

——「NHKを本当に放送法に準拠するようにする」とおっしゃった。今、本当には準拠していないところを感じているのか

それはまったく先入観なく聞いていただきたい。もしかして言うことがないかもしれないし、直すこともあるかもしれないし。就任日に申し上げていることですから、そのときはNHKの内容をまったく知らない。我々が律されているのは放送法ですから、放送法を準拠すべきと。我々はそこを原点にするということで申し上げました。

——経営委員長から、「放送法のうわっ面だけでなく中身について意見交換しながら理解していただきたい」という話があった。放送法の中身、放送法の背景には憲法がある。そのへんを今後どのように身につけていくお考えか

そんなに日本国憲法等々言わなくても、放送法は憲法に準拠して、民主主義を進めるということを放送法に書いてある。これに基づいてやるということです。

——就任会見での発言を国会で5項目を取り消した。先ほどは「バラエティーが多い」という発言も取り消すという話があった。私たちは就任会見のどのご意見が会長のご意見だったか分からない。就任会見のどこが私見で取り消すのか、はっきりして頂きたい

私が取り消したことは先ほど申しました通り、項目でいうと5項目を取り消しました。それははっきりしています。冒頭のところで、私は放送法から始まって国際放送も申し上げて、ガバナンスのことも申し上げているわけです。そのところは取り消したつもりはない。問題は、いろいろ私の私見を申し上げたところは取り消したということで、項目にすると5項目ということです。

3. 「海外の新聞からの取材ない」

——就任会見で、放送センターの建て替えについて2020年の東京五輪に合わせたいとおっしゃったが

NHKは1964年の東京オリンピックに合わせて放送センターを建てたでしょう。単に、

ちょうどまた東京オリンピックに合わせるというじゃないかと思っただけです。それも目標と申し上げたわけです。今から考えた時に、本当に出来るか出来ないかはわかりません。あと5年くらいしかないから、かなり非現実的だというのは私も大体分かってきました。別に、2025年を否定しているわけではありません。皆と話してみなきゃいけません。

——就任会見当日の夜7時のニュースでは発言について報道されなかったが、会長の判断か

(広報局長) 要旨はホームページで出している。個人的見解と何回も断っているので、そうしたことも全部勘案した上で、報道の判断で対応した。それ以上でもそれ以下でもない。

——契約者から、受信料不払いの申し出は何件くらい来ているか

(福井敬理事) 支払い拒否あるいは保留している方がどの程度いるかは把握できていません。平成20年から訪問集金を廃止しており、口座振替、クレジットカードなどでの支払いが中心になっている。仮に引き落としが止まった方でも、理由は把握していない。

——新規契約のために訪問した際、会長があんな発言をするような公共放送には契約したくないと言っている人がいるのでは。件数はどうか

(福井理事) 今のところ把握していません。

——NHKスペシャルで特集をしていた。結果として、本人は耳も聞こえていて曲自体も作っていなかった。かなり長い間取材したと思うが、なぜこのような事態が起きたか

結果としてたまされ、気が付かなかったというわけですね。本当に、視聴者等々に真実と違う放送になってしまったことについてはおわびするしかないと思っています。

——プロデューサーへの聞き取り調査は終了したか

(編成担当) 現在も調査を続けております。具体的なことについてはお答えを差し控えたい。

——NHKスペシャルの影響力の大きさを考え、検証番組のような形で視聴者に説明する必要があるかどうか。どう考えるか

もし何かやることがあるとすれば、何らかの形でやる必要があろうかと思えます。ただ私

自身が、そういうものに対して技術的にとか、どうするかとか、承知していないので。ただ気持ちとしてはそうです。

(その後言い換えて) 具体的にどういうことができるかわからないと申し上げましたが、もっと端的にいうと、現場ともよく相談して検討させていただきたいということでございます。

——就任会見で、国内放送と国際放送では政府との距離が違うという説明をしていた。NHK会長として、国際放送における政治との距離をどのように考えているか、もう一度説明を

政府の重要な政策ですとか、日本における世論がどういうものかということも報告しなければならぬということになっている。そういう形で進めていくべきだと思います。

——国際的な紛争の場合、他国の意見が日本政府と食い違うこともある。そういう場合はどうか

日本政府の重要な政策については、報道すると。そして日本の世論をちゃんと調べた上でそれも報道する。こういうことになっているわけですね。

——相手国の立場も報道するのが客観的な報道かもしれないが、その点は

ケースバイケースでやっていくつもりですが、しかし原則として、我々の報道基準に書いてあることは、政府の重要政策については報道し、同時に国内の世論のことも報道するということになっています。

——特に海外では、萩井さんの発言はかなり批判的に報道されている。これによって、NHKの国際放送の信頼が傷ついているのではないかと思う。その点、会長はどう考えるか

そのような意見は真摯(しんし)に捉えながら、今後私の個人的見解は控えながら、放送法に基づき行動していく所存でございます。何回も申していますように、私の個人的見解を放送に反映させることはありません。

——信頼が毀損(きそん)されているという現状を、具体的にどう回復していくのか

信頼のある放送を通じて回復する、ということしかないと思っています。

——特に海外から強い批判が出ていることに対し、会長は責任をどう考えるか

私の個人的見解を申し上げたことは誠に申し訳ない、と思っていることはその通り。海外の批判についても、甘んじて受けざるを得ないと思います。正直言って海外の新聞から取材を受けたこともありませんし、なぜ、そういうふうな報道されているのかもよくわかりませんが、色んな意見に耳を傾けながら、NHKは真実に基づき放送法にのっとりて粛々とやり、信頼を回復していくということだと思います。

——会長はNHKの放送番組に関する編集権を持つ立場。就任会見での発言や、2人の経営委員の発言や論考が問題になったが、それに対するNHKの報道が、放送法に基づいて多くの角度から論点を明らかにし、国民・視聴者の信頼を回復するに足るような報道内容だったかどうか。どう受け止めているか

そう信じています

——就任会見で色々と率直におっしゃった背景には、会長ご自身が報道陣・記者たちとの間で率直なコミュニケーションをしたいという思いがあったからと理解している。だが、現状は国会でも今回の会見でも、用意されたペーパーを読むことが多くなったが、この状況をどう考えるか

非常に残念ですね

——今後、改善していきたいか。それとも、すべて報道陣の側の対応に問題があると考えているか

コメントを控えます。報道陣に問題があると言えば皆さん方は怒り狂うでしょう。私自身に問題があるということもなかなかいいづらいことです。でもひとつだけ、私が大きく学びましたことは、こういう公式会見で私見を述べてはいけない、ということです。

——経営委員長から注意を受けたことについてどう受け止めたか。また、浜田経営委員長は「容易ならざる事態」という表現をしていた。会長は今の事態をどう感じているか

注意を真摯に受け止めております。容易ならざる事態と、経営委員長がおっしゃっておられるので、私もまったくそうだと思います。